

No.425(一九九〇年一月一・二日合併号)から  
No.458(一九九〇年二月二一日)まで

No.425(一九九〇年一月一・二日合併号)

◇巻頭言◇今度は日本で立ち上がる年  
国労闘争の到達点と課題山下俊幸  
地域労働運動を守りぬこう

「全労協」が結成大会

―議長に宮部氏(都労連委員長)が就任―

―資料「全労協」活動方針(全文)

「国鉄清算事業団闘争の勝利をめざす

京都共闘会議」が結成

自治労「分裂」が明確に

―自治労臨時大会から―

新たな情勢下での闘争論を考える①

―日教組の変質を阻止するために―

〃歴史的転換期〃を生きる

―『吉田松陰』(岩波新書)を学んで―

「ペレストロイカ」への期待と不安

◇読者からのおたより◇編集部だより

No.426(一九九〇年一月二一日)

◇巻頭言◇パナマ侵攻は帝国主義そのもの

再び「連合」の性格について論ず

組織率さらに低下

―八九年度「労働組合基本調査」から―

新たな情勢下での闘争論を考える

―日教組の変質を阻止するために②

九〇年度予算案を切る

総花的で運動の焦点を欠く

―「全労連」結成総会をみて―

学習は楽しみ

―『家族・私有財産

・国家の起源』を終えて―

東京地評の存続が決定

資料東京地評「大会宣言」

◇読者からのおたより◇編集部だより

No.427(一九九〇年二月一日)

◇巻頭言◇当面する三つの課題

総選挙闘争勝利に全力を

党内民主主義の蹂りんを許すな

―社会党兵庫県本部の

異常な党運営を衝く―

◇資料と解説①◇

ペレストロイカへの期待と不安

―ゴルバチョフ論文への疑問―

資料1 社会主義思想と

革命的ペレストロイカ

◇清算事業団の仲間からの報告◇

―清算事業団問題で社会党に意見書―

資料2 社会党本部への「意見書」

(稚内総支部)

◇読者からのおたより◇編集部だより

No.428(一九九〇年二月一日)

◇巻頭言◇激動する東欧情勢のゆくえ

ベーベルと「回想録」

―生誕一五〇周年に寄せて―

自治労の仲間がシンポジウム

九〇年春闘の意義と課題

焦点は社会党の前途と共産党のゆくえ

―総選挙は歴史を変える―

◇資料と解説ゴルバチョフ論文ついて②◇

ペレストロイカの帰すうを決める民族問題

資料①「社会主義思想と

革命的ペレストロイカ」

清算事業団闘争勝利をめざして

資料② 日本社会党兵庫一区協議会

早急に態勢を立て直し、

総選挙で社会党の勝利を

社会主義協会「一月一五日の会」アピール

国労が二四時間スト貫徹!

No.429(一九九〇年二月二一日)

◇巻頭言◇

連合・反連合、そして組合民主主義  
事業闘争と反差別は一体の闘い―国労反合研「中央例会」を再開―  
総選挙で春闘がかすむ―連合第一回中央委員会から―  
大きな不安もたらす教育現場の合理化

民主主義を「衆愚政治」とみる感覚―日経連「労働問題研究委報告」を読む―

資料と解説ゴルバチョフ論文について③

ペレストロイカと社会主義像

資料 社会主義思想と

革命的ペレストロイカ(ゴ論文) ③ IIIの3ペレストロイカと、

社会主義の新しいビジョン

◇自治労の仲間からの報告◇

労戦問題で職場闘争も混乱

◇読者からのおたより◇編集部だより

「二・二一緊急集会」案内

No.430(一九九〇年三月一日)

◇巻頭言◇「国鉄闘争」に全力を

「三点セット+α」の矛盾の深化はこれから―衆院選挙の結果から―

◇編集部から岡崎さんへ◇岡崎さん！当選おめでとう

春闘「継承・発展」元年の年―再び九〇春闘の意義と課題について―

資料社会主義思想とペレストロイカ④ IV社会主義思想の新しい顔

向坂先生没五周年に思う

No.431(一九九〇年三月一日)

◇巻頭言◇JRは地労委命令を守れ

衆院総選挙、結果と教訓①坂牛哲郎

「企業ぐるみ」選挙に政府・独占の限界

◇全通の仲間からの報告◇

統一ステツカ―闘争を九〇春闘の闘いへ

「連合と私鉄総連」を読む

全労協が「春闘パンフ」発行

横浜市従、臨時大会開けず―「分列反対」の声実る―

資料全労協と春闘(宮部民夫議長)

日本古代史散策

古田史学「邪馬台国」のすすめ

読者からのおたより

No.432(一九九〇年三月二一日)

◇巻頭言◇国労とともに行動を

国民各層に密着し、党の組織力強化を

―衆院選、結果と教訓②―

◇総選挙闘争①◇「会派問題」が次の課題に

―兵庫一区からの報告―

労戦方針、またも提案できず

―都職労臨時大会から―

資料①都職労の労働戦線方針に関する対応について

資料②「全労協」九〇春闘方針①

〃二度目〃の首切りは許さない!

―二月二四日、

JR北海道本社前で総決起集会―

資料③集会「アピール」

組合民主主義が組織問題の焦点

―シンポジウム

「自治労運動を考える」に参加して―

◇読者からのおたより◇編集部日より

No.433(一九九〇年四月一日)

◇巻頭言◇

日教組が清算事業団問題で支援のとりくみ

◇清算事業団家族からの訴え◇

全国のみなさん国労闘争へのご支援を

私の夫をJRに戻して

幸せになれるよねお父さん

資料1抗議声明(国労、九〇・三・九)

資料2

社会党の再雇用問題に関する申し入れ(社会党、九〇・三・十五)

資料3JR対策特別委員会の動向と国労の対応経過について

(国労東日本、九〇・三・十六)

資料4連合の中執委で救済求める意見

総選挙闘争②「攻め」の選挙に総括が必要

―北海道五区からの報告―

韓国の「北方政策」と三党合同

資料5「全労協」九〇春闘方針②

読者からのおたより

No.434(一九九〇年四月二一日)

◇巻頭言◇社会党の運動方針案を読む

資料1 国鉄清算事業団職員の再雇用問題に関する申し入れ(社会党)

資料2 社会党の「申し入れ」についてのJR東の意見

資料3 国鉄清算事業団の理事長談話

資料4 解雇予告者数

資料5 解雇予告通知書

資料6 解雇予告に対する抗議声明(国労)

資料7 国鉄清算事業団職員の

再雇用問題に関するお願い(党建協)

国鉄清算事業団で修正案受け入れ―日教組第七一回臨時大会から―

すすむ地方・地域組織の再編成―総評運動の財産

―県評・地区労の解体の実態―

資料8 地方連合会の結成状況

資料9 県評の実態

資料⑩地域組織の確立にむけて(連合)

ソ連・東欧問題を考える①―DDRの存続に暗雲―

◇読者からのおたより◇編集部だより

バブルの破裂

No.435(一九九〇年四月二一日)

◇巻頭言◇社会党大会、清算事業団で決議

東京太田書国労連帯集会の経験から―情勢においつく主体の努力を―

国鉄清算事業団逆オルグを迎えて―土浦・つくば地区からの報告―

◇長崎青年共闘からの報告◇清算事業団闘争にハンストで連帯

資料1 国鉄清算事業団職員の解雇に抗議する声明(国労)

資料2 国労の仲間たちへ(三・三〇総決起集会)

資料3 女たちの緊急抗議声明

資料4 解雇予告者数

資料5 国鉄清算事業団職員の再雇用に関する申し入れ(社会党)

資料6 海外からも首切りに非難の声

資料7 きいてください。家族のねがいを

資料8 四月一日以降の態勢確立について(国労)

資料9 不当解雇、生活と権利を守る

闘いに連帯する決議(自治労富山)

チャールズI世の処刑

―衆院選挙で考えたこと①―

読者からのおたより

No.436

(一九九〇年五月一・二日合併号)

◇巻頭言◇連合に矛盾、左派の結集を

社会党大会、議論と決定―社会党第五五回大会の報告―

「連合」元年の春闘を問う―JC追随では管理春闘突破は不可能―

標的は果たして「言論の自由」か 井原東洋―

清算事業団、三月三十一日の攻防―大量不当解雇は絶対に許さない―

東京地評「再生」へ臨時大会開く

◇ソ連・東欧問題を考える②◇ゆれ動く東欧、現状をみる

連合による社会党ジャックは失敗の運命に―チャールズ一世の処刑②―

誌代値上げのお願い

No.437(一九九〇年五月二一日)

◇巻頭言◇国鉄闘争に支援と連帯を

社会党はデタントにイニシアチブを發揮せよ―デタントの背景と展望―

国鉄闘争、現状と到達点―新たな段階に入った国鉄闘争―

資料闘争体制の確立について(国労)―「国労闘争団」を編成―

ストライキに労働者の底力―重大さ増す連合内における私鉄の役割―

◇フィリピン訪問記①善明建一◇フィリピン革命と民族民主戦線の現状

◇読者からのおたより◇交流室

誌代値上げのお願い

No.438(一九九〇年六月一日)

◇巻頭言◇自民党政治の動揺と選挙制度の改悪

大会後の社会党の動向

資料1 統一自治体選挙に多数擁立しよう

資料2 幻の連合の「党介入文書」

資料3 新連合結成後の党と労働組合の支持協力関係について

◇投稿◇全国教研に参加して

DDRの現状①―ベンザー―所長の講演を中心に―

清算事業団「解雇撤回・JR復帰」

全国オルグ受け入れを強めよう

韓国スミダの計画的倒産・

全員解雇を許さない

フィリピン訪問記②アキノ政権発足後の攻防

(お知らせ) 労金のオンライン化で労金の

口座番号が変わりました。

新番号は東京労金本店No.1154163

No.439(一九九〇年六月一日)

◇巻頭言◇

国労・闘争団を物心両面から支えよう

◇投稿◇

解雇撤回、国労組合員・家族とともに

日本社会党第五回全国大会議案(草案)

への意見書

資本の論理は法則的

―「メーデー百年」から考える―

灰原御夫妻と八〇人の仲間たち

京都市職労の分裂回避、再統一を

◇フィリピン訪問記③◇

フィリピン労働者、農民の実態

DDRの現状②

―ベンザー所長の講演を中心に―

読者からのおたより

(お知らせ)

労金のオンライン化で労金の

口座番号が変わりました。

新番号は東京労金本店No.1154163

No.440(一九九〇年六月二日)

◇巻頭言◇九〇春闘総括への一視点①

日教組第七二回大会の課題

資料1日教組大会スローガン

資料2たたかいをすすめるにあたって

「壮大な政策体系」と実現主体にカイリ

―「連合」政策討論集会から―

「天皇制」と叙位・叙勲

―社会党、叙勲辞退をきっぱりと―

◇フィリピン訪問記④◇

燃えるフィリピンとの連帯を

◇投稿東京は暖かかった!

資料3ソ連共産党内の三大潮流

◇読者からのおたより◇交流室

No.441(一九九〇年七月一日)

特集ガンバレ「国労闘争団」

◇巻頭言◇「国鉄闘争」を軸に大衆運動を―九〇春闘総括への一視点②―  
今後の闘いに重要な教訓―「国労闘争団全国オルグ」の報告―  
私もがんばる、闘争団もがんばって―北海道激励交流団に参加して―  
重要な第一歩をふみだす―「闘争団」全国オルグ第一次行動―  
世の中、捨てたもんじゃやない

◇パンフ紹介すな首切り、JRは命令にしたがえ

資料① 国労中央委方針(要旨、九〇年六月二三)

「職域支部設置規程」を新設―社会党神奈川県本部大会から―

資料② 不当労働行為根絶を求める決議

◇資料と解説◇横浜市従が二重加盟」を提案

資料③ 分裂方針撤回を求める三中執アピール

資料④ 市従の総団結をかちとるために(第二号議案)

資料⑤ 産別強化・組拡闘争の推進について(自治労本部)

No.442(一九九〇年七月一日)

◇巻頭言◇「連合」の弱点をつけ

―「連合」の矛盾と弱点①―

「国際国家脱皮実行の年」掲げる日経連

臨教審路線と対決する方針案を可決―都高教大会から―

社会党よ、国民とともに歩め

資料1 消費税廃止を捨て妥協に

走り始めた幹部の行動に断固抗議する!

資料2 田辺、久保報道に関する

事実関係の調査と要請について

JR当局のねらいは兵糧攻め―北海道激励交流団に参加して―

『帝国主義』論を読了―ソ連・東欧の変化・動揺のなかで―

「労働者階級を中核」として―ベトナム労働者と交流して―

読者からのおたより

No.443(一九九〇年七月二一日)

◇巻頭言◇古典学習のすすめ

「官」と「民」の違和感が拡大―拡大する「連合」の矛盾と弱点②―

社会党の「自己改革」も―社会党よ、国民とともに歩め②―

JR七社の決算報告を斬る

横浜市従執行部が二重加盟」を強行

党運動、指導のあり方で自己批判―共産党第一九回大会決議案について―

ドイツ民主共和国「崩壊」の背景―アルツインガー氏の講演から―

「国鉄闘争勝利」を中心に二つの柱―労研センター第八回総会のポイント―

No.444(一九九〇年八月一日)

◇巻頭言◇

「国鉄闘争」は未来を作る

―国労第五五回大会の意義と課題―

日教組運動、当面の課題と任務

―「参加・提言・改革」

を決めた日教組大会―

資料1 主要な修正案と採決状況

資料2 規約改正

資料3 「教研」の「新たな高揚と質的発展」

資料4 組合費等

基本路線〃見直し〃の時せまる

―全通第四四回全国大会を聞いて―

千葉社会党県本が三つの決議

資料5 安保廃棄の基本原則を堅持する…決議

資料6 国鉄清算事業団に関する…決議

資料7 「月刊社会党全国大会決定集」

に関する決議

一時金の「傾斜配分」〃差別支給について

読者からのおたより

No.445(一九九〇年八月一日)

◇巻頭言◇新しい国際情勢と『帝国主義論』

兵庫社会党、真の解決のために

―月刊社会党七月号

「総選挙兵庫のたたかい」を読んで

政党支持には三つの潮流

―拡大する「連合」の矛盾と弱点―

資料1

「連合」兵庫公職選挙候補者推せん基準

資料2 「連合」首長・地方選挙への対応方針

六百名で三多摩地区集会

―「不当解雇撤回、

国鉄闘争勝利」をめざす―

◇投稿◇都高教大会に思う

読者からのおたより

パンフ紹介すな！社会党ジャック

No.446(一九九〇年八月二一日)

◇巻頭言◇国際情勢、三つの特徴

ソ連はどうなるか―ソ連共産党第二八回大会を終えて―  
問われる職場の民主主義

―私鉄総連大会を傍聴して―

発言者全員が「談話」を批判

―社会党全国書記長会議から―

労働運動再生の道を論議

―「全労協」第二回定期総会を開く―

資料「全労協」運動方針(要旨)

◇読者からのおたより◇編集部だより

No.447(一九九〇年九月一日)

◇巻頭言◇中東の「事件」と「新思考」

特集・国労大会

三万五千組合員が「国鉄闘争」の主人公

―国労大会を傍聴して―

資料1三つの課題に全力(委員長あいさつ)

資料2闘いの基調(運動方針から)

資料3当面の行動について(追加議案)

資料4なくす政治決着は許さない(書記長集約答弁)

都職労が労戦対策方針を決定

資料5都職労のナショナルセンター、

全国産別組織への対応について

読者からのおたより

No.448(一九九〇年九月一日)

◇巻頭言◇米「合同軍」と日本の支援

「安保三〇年」と現代

職場は労働強化に「悲鳴」とウメキ

―組合大会前半の傾向から―

「国鉄闘争」の新たな局面を明示

―国労大会の要旨と感想―

資料自治労が中労委に要請書

リアリだって巨象をも倒す!!

―「国労闘争団」全国オルグに参加して―

「党建協」、三周年記念シンポジウムに

ご参加を

読者からのおたより

No.449(一九九〇年九月二一日)

◇巻頭言◇科学的社会主義の古典にまなべ  
フセインの野望と世界の将来

―新しい国際情勢と中東―  
一周おくれの「社会民主主義論」

読者からのおたより

激突した保守派と改革派

―ソ連共産党大会、

そのプロフィール、と発言―

日本のマスコミを考える

編集部だより

「党建協」三周年記念シンポジウムにご参加を

No.450(一九九〇年一〇月一日)

◇巻頭言◇職場に労働運動を

いま自治労に問われるもの

―自治労大会に参加して―

北欧社会民主主義国の限界

―北欧三ヶ国を訪ねて―坂牛哲郎―

「中東貢献策」は憲法違反

―中東の事件と社会党の役割①―

No.451(一九九〇年一〇月二一日)

◇巻頭言◇現情勢と社会党強化への道  
未完に終わったドイツ社会主義革命

「中東貢献策」は憲法違反

―中東の事件と社会党の役割―

資料1当面の政治情勢に関する提言

(党建協)

資料2当面するわれわれの任務と課題

(党建協)

資料3安保・自衛隊に関する特別決議

(党建協)

資料4学者八氏の反安保堅持の要望書

「日本住宅会議」サマーセミナーに参加して

◇国労紋別闘争団からの報告◇

勝つまで闘い続ける

◇読者からのおたより◇編集部だより

No.452(一九九〇年一〇月二二日)

特集・「連合」を解剖する

◇巻頭言◇「連合」の本質は変わったか  
予想以上に「連合」内の亀裂が拡大―背景に深い運動路線上の対立―  
日経連とゆ着を強める「連合」―労働と資本とパートナー!?!―

「連合」下の労働運動とわれわれの任務

◇資料と解説◇

「連合」の実態が調査でも明らかに

資料ユニオン・リーダー調査についての

中間報告①

読者からのおたより

No.453(一九九〇年一月一日)

◇巻頭言◇大衆闘争で「協力法」粉碎を  
憲法違反の「国連平和協力法」―自衛隊の海外派兵を明記―

「中東貢献策」を積極的に評価

―総資本の三つの基本戦略①―

資料ユニオン・リーダー調査についての

中間報告②

昭電闘争で和解が成立―一五年間ご支援ありがとうございます―

書評和気誠著

『高野長英と向坂逸郎に魅かれて』

読者からのおたより

No.454(一九九〇年一月一日)

◇巻頭言◇人生そのものだった昭電闘争

これからは国労闘争に全力

ポスト冷戦と国民「統合」狙う大嘗祭

政党法策定をもさく

―総資本のご一つの基本戦略②―

海部内閣支持率が急降下

―三つの世論調査結果から―

全通の同志への手紙大森太郎

資料ユニオン・リーダー調査についての

中間報告③

規約改正案と組織のあり方

―合意と統合は党内民主主義から―

読者からのおたより

No.455(一九九〇年一月二一日)

◇巻頭言◇国連平和協力法は廃案になったが  
参院愛知補選の教訓

―「平和憲法を守れ」で統一戦線を―  
旧日本軍の亡霊―梅外派兵を許すな  
―一〇・二―横田基地包囲行動に  
二万三千人―

中労委は動き出したが

―闘争団、本務の運動と前進が

勝利への基礎―

「労働者の権利宣言」(素案)を提示

―全労協第二回全国地域集会から―

資料1労働者の権利宣言・素案(全文)

三つの柱を中心に

―東京全労協結成さる―

資料2東京全労協結成「大会宣言」

資料3「愛知全労協」結成宣言

資料4社会党宗谷地区協が党本部に意見書  
今こそ共闘運動、大衆行動、交流を  
読者からのおたより

No.456(一九九〇年二月一日)

◇巻頭言◇憲法があぶない!

岡崎氏の会派入り、石井副委員長辞任決定

―社会党兵庫県本部大会―

ソ連労働者と共にならからの大衆闘争を

―ソ連ML研交流記―

日朝三党共同宣言と朝鮮の平和統一問題

―新たな情勢下、社会党の課題を問う―

◇資料と解説◇

日本労働弁護団が高梨委員に辞職要求

資料1中労委公益委員高梨委員の

辞職を求める決議

資料2高梨委員の講演から(抜すい)

闘い一生、一日一日を大切に

―国労団結まつりに四万人―

読者からのおたより

No.457(一九九〇年二月一日)

◇巻頭言◇結成一年で早くも死に体リに  
下からの反独占の共闘構築をめざして

―「国連平和協力法」反対闘争―

憲法突破をめざす国民シヨ―「即位の礼」  
地についた理論の力の強さ痛感

―「現代フェミニズムと山川菊栄」集会―  
国労闘争の現状と課題

―国労闘争団全国代表者会議の報告―

資料社会政策学会会員(二三五名)が  
中労委に要請書

「実践的行革」の中身を問う

―第三次行革審の本質について―  
読者からのおたより

No.458(一九九〇年二月二日)

巻頭言◇「まとも」「心ある」統一戦線で…

―「国鉄まつり」に感動して―  
都職労の新たな組織体制きまる

国際労働運動新時代の幕開けになるか

―第一二回世界労働組合大会を傍聴して―  
資料日本の鉄道労働者の闘いに

連帯するメッセ―ジ

イラクショックと日本経済の動向

―九一春闘をめぐる情勢の特徴と課題①―  
院内外の戦いが結合

―「海外派兵法案」国会をみる―

廃案にでき、私の心は秋晴

―みなさん、ありがとうございます―